

ペットロス体験 愛犬目線で

阿見の戸田さんが絵本、無料配布

愛犬を交通事故で失った阿見町の戸田さつきさん(39)が、愛犬の目線でペットロス体験を描いた絵本を出版し、無料配布している。タイトルは「天国からの贈りモノ」。ペットロスのあなたへ。新たに巡り合うペットを「天国からの贈りモノ」として待ちながら今を慈しんで、と呼びかける。

主人公は、交通事故で死んでしまった犬の「カンタ」。天国で暮らしているが、飼い主のママが毎日泣いていることを心配し、神様に相談して「ママを笑顔にする子」を探す。数日後、「お家がないう犬」を家族に迎えてくれるよう、ママにメールが届く。

戸田さんは2012年に愛犬・カンタ(当時3歳・雄)を交通事故で亡くした。散歩中に首輪が抜



ペットロスの体験を描いた絵本と戸田さつきさん(右)の握手

友人たちからは新しく犬を飼うよう勧められたが、カンタを守ってやれなかった後悔と喪失感に苦しみ続け、「生きる気力をなくした。もう1匹のメイ(13歳・雌)も散歩に連れ出せなくなった。

そんな時、かかりつけの動物病院の医師から「必ず巡り合う犬が現れるよ」と励まされ、「待て

新しい出会い待ち「今を慈しんで」

う」との気持ちになれた。一方、首輪と胴輪(ハーネス)を同時につなぐリードを考案。取手駅西口の貸しオフィス「Matchbook」を事務所とし、犬雑貨「RUMKA」の名で17年1月からネット販売している。

来店者には、ペットロスの悩みを打ち明ける人たちが多くいることに気づいた。「犬が死んで悲しいなんて誰にも言えない」「職場の上司のペットへの無理解に傷ついた」

その頃、戸田さんは介護施設に入るお年寄りが飼っていた犬を預かることになった。「カンタが贈ってくれたんだと思うと気が楽になった」。ブログで紹介すると、「新しく犬を迎える気持ちになった」「救われた」などの反響があった。

今後、医療の進歩などによる飼育環境の充実でペットの高齢化が進み、ペットロスに陥る人も増える。「総ペットロス時代」に向け、「自分の体験を基に気持ちを伝えてもらおう」という思いで文をつづり、知人のイラストレーターに絵を頼んだ。

「天国からの贈りモノ」はA5判、16ページ。限定2千部。Matchbookや水戸市のドッグサロンなどで配布している。問い合わせは戸田さん(050・3131・0601)。(佐藤清孝)

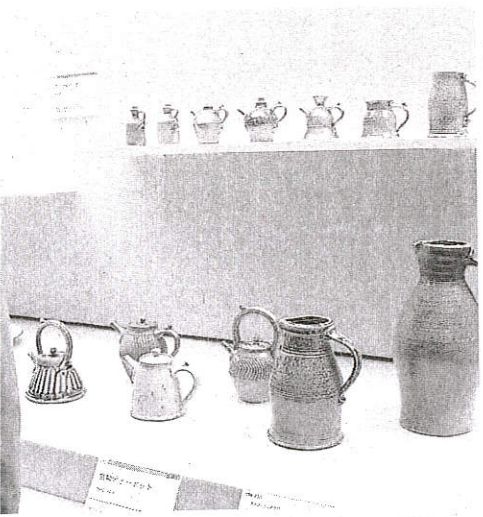
入管浴室にカメラ 「人権上許されぬ」

収容者の支援団体

牛久市久野町の法務省東日本入国管理センターで、シャワー室に監視カメラが設置されていることが25日、明らかになった。収容

「センターは対症療法の一つもりかもしれないが、人権上許されない」と批判。収容者からは「裸を見られるのが嫌だ」などと不満の声

の「最前線」一堂に



展示品を眺める来場者(笠間市笠間)

や技術
朗「レリ
高見沢